

# MASAO OKABE

# 岡部 IWAKI

フロッタージュ  
プロジェクト  
成果展

# 昌生

入場無料

いわきまちなかアートフェスティバル「玄玄天」  
いわきの空から宙を見る 連携事業

主催：はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会  
協力：特定非営利活動法人 Wunder ground

## いわき

会期 / 2015年

10月24日(土) ⇒ 11月27日(金)

観覧時間：10:00~18:00 会期中無休

会場 / もりたか屋3F (福島県いわき市平三丁目34)

\*お車でお越しの方は、近隣の駐車場をご利用ください。



津波による擦過痕が刻まれた土間の遺構 (南相馬市小高区塚原 2014.5.23)



## 岡部昌生フロッターージュプロジェクト成果展 | いわき



写真左上 海岸より 550m 地点に漂着した十字形  
(南相馬市小高区井田川 2013.3.21)

写真右上 津波により土間に刻まれている擦過痕  
(南相馬市小高区井田川北新田 2014.5.22)

写真左下 津波による擦過痕が刻まれた土間の遺構  
(南相馬市小高区塚原 2014.5.23)

美術家・岡部昌生は、フロッターージュ（対象に紙を当てその上から鉛筆、チョークなどで凹凸をすり取る技法）によって長年国内外の各地に残る歴史の痕跡をすり取る活動を続けています。美術家の立場から歴史に真摯に向き合う活動は高い評価を得ており、2007年には第52回ヴェネチアビエンナーレの日本代表を務めました。東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故後の福島で始まったはま・なか・あいつ文化連携プロジェクト岡部昌生フロッターージュプロジェクトは、南相馬市の津波の痕跡をフロッターージュで記録する活動から始まり、被災地の土地の記憶に遡る活動を展開してきました。活動を通して次第に浮き上がってきた震災の記憶、歴史の断片、今なお課題を抱える原発事故の被害。これらを作品に刻み続けてきたプロジェクトの成果のうち、津波によって生じた傷を生々しく残す南相馬市の住宅の基礎や南相馬市の歴史を物語る史跡のフロッターージュ作品を中心にをご紹介します。自然の力の巨大さへの畏怖。土地が持つ歴史の厚さ。作品からみなさんは何を感じられるでしょうか。多くの方と感じ、考える場としたいと思います。ぜひお出かけください。

岡部昌生:Okabe Masao/北海道出身。美術家 ■都市に内在する不可視の記憶や歴史の痕跡を写し取るため、1977年よりフロッターージュ(すり出し)の手法を用いて表現を始める。1980年代後半より広島原爆の痕跡を作品化するプロジェクトを開始し、2007年のヴェネチア・ビエンナーレにおいて結実。現在も継続的に広島や福島といった都市に関わり続けている。人々とのコラボレーションやワークショップも積極的に実施するほか、国内外の各都市で制作・展覧会活動を展開している。

<会場のご案内>



■会場のお問合せ

特定非営利活動法人Wunder ground  
〒970-8026 いわき市平三丁目34  
TEL:050-3555-6612 (会田)  
MAIL:info@wangura.net

■事業のお問合せ

はま・なか・あいつ文化連携プロジェクト実行委員会事務局  
〒965-0807 会津若松市城東町1-25 (福島県立博物館内)  
TEL:0242-28-6067 (事務局直通)もしくはTEL:0242-28-6000 (福島県立博物館代表)  
FAX:0242-28-5986 (福島県立博物館内) \*毎週月曜日、祝日の翌日は休業

はま・なか・あいつ文化連携プロジェクトとは…福島県立博物館が福島県内の大学、文化施設、NPO等との連携により2012年から実施しているアートプロジェクト。はま(福島県の太平洋側)、なか(東北新幹線、東北自動車道が貫く福島県の中央部)、あいつ(新潟県に隣接する福島県の山間部)で展開する活動を通して、福島文化・歴史・自然の豊かさを再発見すること、福島が抱える課題を共有し共に考える場を生み出すことを目的としています。2015年度は、8つのプロジェクトを実施。詳しくはこちら → [hamanakaazu.jp](http://hamanakaazu.jp)